

# 医療計画作成支援データブック 【平成29年度版:平成28年度診療分】 受療動向可視化ツールからの抽出結果 宮城県

## ●患者受療動向

保険者情報が地域に密接に紐づいている国民健康保険(以下、国保)、退職国保、後期高齢者医療制度(以下、後期)のレセプトを用いている。被用者保険のレセプトは、必ずしも保険者と地域の紐づけがなく、また、DPCデータとは異なり、レセプトには患者所在地の郵便番号情報がないため、受療動向の集計には使用できない。受療動向は国保、退職国保、後期のみの使用であることに留意が必要。従って、受療動向ではレセプト数は全体を示しているものではなく、相対的に割合として提示している。ここでもNDBのガイドラインに従い、数字がマスクされているため、空白であっても全く患者がいない訳ではないことに留意が必要。

(平成28年度末の県人口に対する国保被保険者(一般分及び退職分)の割合は23.4%、後期高齢者医療広域連合被保険者の割合は13.0%。)

## ●抽出条件の種類

別添「分類・指標名一覧」、流出入、入外区分、年齢区分(0～14才、15～64才、65才～74才、75才以上、全年齢)毎に抽出可能。

※NDBの利用ルールにより、以下の集計データは表示されていない。

- ①人口2,000人未満の市区町村では、患者等の数を表示しないこと。(該当:七ヶ宿町)
- ②人口2,000人以上25,000人未満の市区町村では、患者等の数が20未満になる集計単位が含まれないこと。  
(該当:蔵王町, 大河原町, 村田町, 川崎町, 丸森町, 山元町, 松島町, 七ヶ浜町, 大郷町, 大衡村, 色麻町, 加美町, 涌谷町, 美里町, 女川町, 南三陸町)
- ③人口25,000人以上の市区町村では、患者等の数が10未満になる集計単位が含まれないこと。

※県外については、北海道・東北のみ抽出している。